

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-280751

(43)Date of publication of application : 10.10.2000

(51)Int.Cl.

B60J 10/08

(21)Application number : 11-091470

(71)Applicant : NISHIKAWA RUBBER CO LTD

(22)Date of filing : 31.03.1999

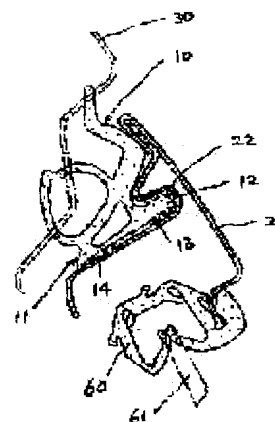
(72)Inventor : KII ASAJIRO

(54) DOOR WEATHER STRIP ATTACHING METHOD AND ATTACHING STRUCTURE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To eliminate deviation in opening and closing of a door and to improve sealing performance between the door and a body by attaching a door weather strip to a door panel by a double-sided tape after temporarily fixing the door weather strip by a projecting insertion part as one end of the base part.

SOLUTION: After a projecting insertion part 12 formed on the body outer side 50 of a door weather strip base part 11 is fitted and temporarily fixed in an approximately U-shaped sectional groove 22 formed on a door panel 21, force acting on a door weather strip 10 when the releasing paper 15 of the double-sided tape 14 bonded to the lower surface on the compartment side 40 of the base part 11 is received by the groove part 22 to prevent deviation of the door weather strip 10. After the die releasing paper is peeled, the door weather strip 10 is bonded to the door panel 21 through the double-sided tape 14.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

03.08.2004

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

24.10.2006

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

全項目

(19)【発行国】日本国特許庁(JP)
(12)【公報種別】公開特許公報(A)
(11)【公開番号】特開2000-280751(P2000-280751A)
(43)【公開日】平成12年10月10日(2000. 10. 10)
(54)【発明の名称】ドアウエザーストリップの取付方法および取付構造
(51)【国際特許分類第7版】

B60J 10/08

【FI】

B60J 5/00 501 K

【審査請求】未請求

【請求項の数】2

【出願形態】OL

【全頁数】4

(21)【出願番号】特願平11-91470

(22)【出願日】平成11年3月31日(1999. 3. 31)

(71)【出願人】

【識別番号】000196107

【氏名又は名称】西川ゴム工業株式会社

【住所又は居所】広島県広島市西区三篠町2丁目2番8号

(72)【発明者】

【氏名】紀井 浅次郎

【住所又は居所】広島県広島市西区三篠町2丁目2番8号西川ゴム工業株式会社内

(74)【代理人】

【識別番号】100062328

【弁理士】

【氏名又は名称】古田 剛啓

(57)【要約】

【課題】従来のドアウエザーストリップをドアパネルに取付ける手段は、取付けに多くの時間を要すると共にドアの開閉によってずれ易く、雨水等が室内へ侵入する可能性がある。

【解決手段】ドアウエザーストリップ基部11の車外側50に形成した突出挿入部12を、ドアパネル21に形成した断面略コ字状の溝部22に嵌入して仮固定した後、基部11の室内側40下面に接着した両面テープ14の離型紙15を剥がす際にドアウエザーストリップ10に作用する力を溝部22で受け止めさせてドアウエザーストリップ10のずれを防止し、離型紙15を剥がした後、ドアウエザーストリップ10を両面テープ14を介してドアパネル21に接着する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】ドアウエザーストリップ(10)をドアパネル(21)に取付ける方法であって、ドアウエザーストリップ基部(11)の車外側(50)に形成した突出挿入部(12)を、ドアパネル(21)に形成した断面略コ字状の溝部(22)に嵌入して仮固定した後、基部(11)の室内側(40)下面に接着した両面テープ(14)の離型紙(15)を剥がす際にドアウエザーストリップ(10)に作用する力を溝部(22)で受け止めさせてドアウエザーストリップ(10)のずれを防止し、離型紙(15)を剥がした後、ドアウエザーストリップ(10)を両面テープ(14)を介してドアパネル(21)に接着してなるドアウエザーストリップの取付方法。

【請求項2】ドアウエザーストリップ(10)をドアパネル(21)に取付けるための構造であって、ドアウエザーストリップ基部(11)の車外側部分を車外側(50)へ突出させて突出挿入部(12)を形成し、ドアパネル(21)に突出挿入部(12)が嵌入してドアウエザーストリップ(10)を仮固定する断面略コ字状の溝部(22)を形成し、さらに基部(11)の室内側(40)下面を両面テープ(14)を介してドアパネル(21)に接着してなるドアウエザーストリップの取付

構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ドアパネルに取付けられ、ドアとボディとの間のシールを達成するドアウエザーストリップの取付方法および取付構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】図1乃至図3を参照して説明する。従来、ドア20とボディ30との間のシールを達成するドアウエザーストリップ70は、通常、図2および図3に示すような手段によってドアパネル21に取付けられている。

【0003】図2に示すものは、ドアウエザーストリップ70の基部11をドアパネル21に設けられたチャンネル73に嵌入することによって取付けるものである。また、図3に示すものは、ドアウエザーストリップ70の基部11をドアパネル21にクリップ71で止めると共に両面テープ14で接着することによって取付けることとしている。

【0004】しかし、図2に示す従来技術においては、ドアウエザーストリップ70の基部全体をチャンネル73に嵌込む必要があるため、取付けに多くの時間を必要とし、また、ドア20の開閉によってドアウエザーストリップ70がずれ易く、シール性が低下するといった問題がある。また、図3に示す従来技術にあつては、クリップ71と両面テープ14を使用するのでコストが嵩み、ドアパネル21にクリップ71用の孔72を穿設する必要があるためその分多くの工程を必要とし、またその孔72から雨水等が室内へ侵入する可能性があるといった問題がある。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする課題は、従来のドアウエザーストリップ70をドアパネル21に取付ける手段においては、取付けに多くの時間を要すると共にドア20の開閉によってずれ易く、また、コストが嵩み、多くの取付け工程を必要とすると共に雨水等が室内へ侵入する可能性があることである。

【0006】

【課題を解決するための手段】図1、図4および図5を参照して説明する。第1の発明は、ドアウエザーストリップ10をドアパネル21に取付ける方法であつて、ドアウエザーストリップ基部11の車外側50に形成した突出挿入部12を、ドアパネル21に形成した断面略コ字状の溝部22に嵌入して仮固定した後、基部11の室内側40下面に接着した両面テープ14の離型紙15を剥がす際にドアウエザーストリップ10に作用する力を溝部22で受け止めさせてドアウエザーストリップ10のずれを防止し、離型紙15を剥がした後、ドアウエザーストリップ10を両面テープ14を介してドアパネル21に接着するものである。

【0007】第2の発明は、ドアウエザーストリップ10をドアパネル21に取付けるための構造であつて、ドアウエザーストリップ基部11の車外側部分を車外側50へ突出させて突出挿入部12を形成し、ドアパネル21に突出挿入部12が嵌入してドアウエザーストリップ10を仮固定する断面略コ字状の溝部22を形成し、さらに基部11の室内側40下面を両面テープ14を介してドアパネル21に接着したものである。

【0008】

【発明の実施の形態】本発明のドアウエザーストリップ取付構造の一実施形態を図4に示す。この取付構造は、ドアウエザーストリップ基部11の車外側部分を車外側50へ突出させて突出挿入部12を形成し、ドアパネル21に突出挿入部12が嵌入してドアウエザーストリップ10を仮固定する断面略コ字状の溝部22を形成し、さらに基部11の室内側40下面を両面テープ14を介してドアパネル21に接着して構成している。

【0009】また、突出挿入部12にはその上下から、室内側40へ傾斜した複数の爪片13を突設している。この爪片13を設けることによって、突出挿入部12の溝部22への侵入を容易にし、かつ当該爪片13を溝部22内面に係止させることによって突出挿入部12の抜け出しを未然に防止している。これにより、ウエザーストリップ10を安定姿勢で強固に仮固定できる。なお、爪片13の数は限定されず、またその突設位置も突出挿入部12の上下両面に限らず、上面のみあるいは下面のみであっても良いし、さらに実施の態様によっては設けなくても良い。また、突出挿入部12は、強固な仮固定を達成するために、ソリッドゴムやソリッド樹脂等の硬質材で成形するのが好ましい。なお、図4において、符号60はドアガラス用ウエザーストリップを示し、61はドアガラスを示す。

【0010】次に、図4に示す取付構造を参照して、本発明のドアウエザーストリップ取付方法の一実施形態について説明する。まず、ドアウエザーストリップ基部11の車外側50に形成した突出挿入部12を、ドアパネル21に形成した断面略コ字状の溝部22に嵌入して仮固定する。この際、突出挿入部12には爪片13が設けられているので、溝部22内面には突出挿入部12の本体部分ではなく爪片13が弾接し、よって突出挿入部12は適度な摩擦抵抗で溝部22に円滑に嵌入できる。また、当該爪片13は室内側40へ傾斜しているため、溝部22に嵌入した突出挿入部12は容易には抜け出ず、よってドアウエザーストリップ10は安定姿勢で仮固定される。

【0011】仮固定完了後、基部11の室内側40下面に接着した両面テープ14の離型紙15を剥がす。この際、図5に示すように、ドアウエザーストリップ10の室内側40を持ち上げる状態となるので、当該ドアウエザーストリップ10には主として車外側50へ作用する押圧力が作用する。しかし、この押圧力は溝部22が受け止めるため、ドアウエザーストリップ10がずれることがなく、仮固定の位置を正確に維持する。なお、ウエザーストリップ10に引き抜き力が作用しても、爪片13等のはたらきによって突出挿入部12は溝部から抜け出すことがない。続いて、ドアウ

エザーストリップ10に接着されている離型紙15を剥がした後、図4に示すように、ドアウエザーストリップ10を両面テープ14を介してドアパネル21に接着し、取付けを完了する。

【0012】上記したドアウエザーストリップの取付方法および取付構造においては、ドアウエザーストリップ10をその基部11の一端部である突出挿入部12を溝部22に嵌入して仮固定した後、両面テープ14でドアパネル21に取付けるので、従来の基部の全体をチャンネルに嵌込むものと比較して、取付が簡単で、取付時間の短縮を図ることができ、また、ドア20開閉時におけるずれも発生しない。

【0013】また、従来のクリップ71と両面テープ14で取付けるもののと比較して、クリップ71を使用しないのでコストの低減を図ることができ、また、クリップ71用の孔72を必要としないので取付工程の簡略化を図ることができると共に、当該孔72から雨水等が侵入する危険性がない。

【0014】

【発明の効果】ドアウエザーストリップ10をその基部11の一端部である突出挿入部12で仮固定した後、両面テープ14でドアパネル21に取付けることとしているので、従来のチャンネル73に取付けるものと比較して、取付時間の短縮を図ることができると共に、ドア20開閉時におけるずれも発生しない。従って、ドア20とボディ30との間のシール性を向上させることができる。

【0015】また、従来のクリップ71と両面テープ14で取付けるもののと比較して、クリップ71を使用しないのでコストの低減を図ることができ、また、クリップ71用の孔72を必要としないので取付工程の簡略化を図ることができると共に、当該孔72から雨水等が室内へ侵入するといった事態を招くことがない。従って、廉価でシール性に優れた製品を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】ドアウエザーストリップが取付けられる自動車を示す側面図である。

【図2】従来例を示すもので、図1におけるA-A線断面図である。

【図3】他の従来を示すもので、図1におけるA-A線断面図である。

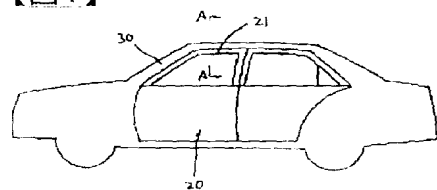
【図4】本発明の一実施形態を示すもので、図1におけるA-A線断面図である。

【図5】本発明の一実施形態において、両面テープの離型紙を取り除く際の状態を示す垂直断面図である。

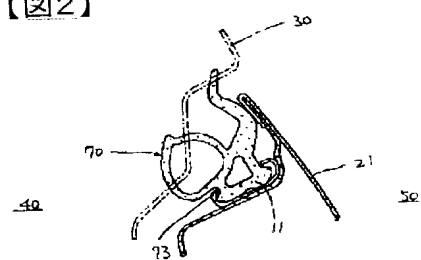
【符号の説明】

- 10 ドアウエザーストリップ
- 11 基部
- 12 突出挿入部
- 13 爪片
- 14 両面テープ
- 15 離型紙
- 20 ドア
- 21 ドアパネル
- 22 溝部
- 30 ボディ
- 40 室内側
- 50 車外側
- 60 ドアガラス用ウエザーストリップ
- 61 ドアガラス
- 70 ドアウエザーストリップ
- 71 クリップ
- 72 孔
- 73 チャンネル

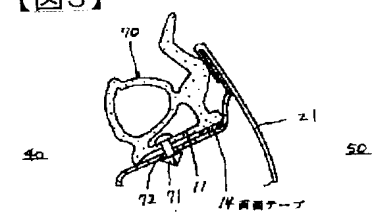
【図1】



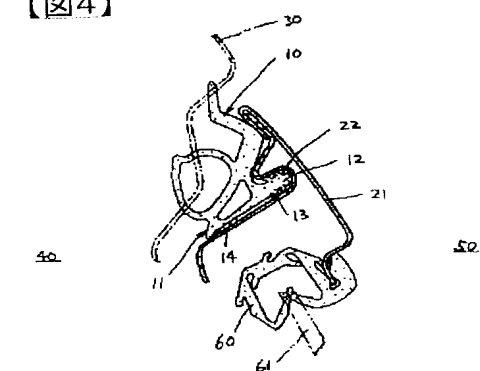
【図2】



【図3】



【図4】



【図5】

